

横浜市長

【誤った記載例】

- 代表者の肩書がない
- 院長と病院長の記載の違い。
- 病院名の違い。

法人所在地

法人名

代表者名 肩書も入れます

※押印不要

令和8年度 横浜市病院群輪番制事業参加申込書

横浜市病院群輪番制事業について、次のとおり関係書類を添えて参加を申込みます。

- 1 施設名（病院名） ●●●病院

- 2 事業計画書 別添のとおり

横浜市長

法人所在地 〇〇区〇〇町〇-〇  
 法人名 〇〇法人  
 代表者名 病院長 〇〇 〇〇  
 記入担当者氏名 〇〇 〇〇  
 電話番号 1 2 3-4 5 6 7

横浜市病院群輪番制参加病院事業計画書

肩書も記載してください。

1 事業内容

- (1)施設名(病院名) 〇〇病院
- (2)上記施設において、横浜市病院群輪番制事業を実施し、傷病患者の診療を行います。
- (3)当番日診療科目及び年度内実施予定回数

ア当番日診療科目(該当する欄に〇印を記入。)

イ年度内実施予定回数(該当する欄に回数を記入。)

	一般 (内科・外科)	小児科
夜間	〇	
休日昼間	〇	

	一般 (内科・外科)	小児科
夜間	24回	回
休日昼間	12回	回

2 当番日診療体制

(1)夜間

	基準	一般 (内・外)	基準	小
医師	2	3人	1	人
(うち内科)	1	2人	/	
(うち外科)	1	1人		
応援医師 ※緊急呼出体制可	-	10人	-	人
(うち内科応援医師)	-	9人	-	人
(うち外科応援医師)	-	1人	-	人
(うち小児科応援医師)	-	人	-	人
看護師	-	6人	-	人
応援看護師 ※緊急呼出体制可	-	2人	-	人
薬剤師	-	2人	-	人
臨床検査技師	-	1人	-	人
診療放射線技師	-	1人	-	人
事務職員	-	1人	-	人
確保ベッド数(概ね)	3	3床	2	床

(2)休日昼間

	基準	一般 (内・外)	基準	小
医師	2	3人	1	人
(うち内科)	1	2人	/	
(うち外科)	1	1人		
応援医師 ※緊急呼出体制可	-	10人	-	人
(うち内科応援医師)	-	9人	-	人
(うち外科応援医師)	-	1人	-	人
(うち小児科応援医師)	-	人	-	人
看護師	-	6人	-	人
応援看護師 ※緊急呼出体制可	-	2人	-	人
薬剤師	-	2人	-	人
臨床検査技師	-	1人	-	人
診療放射線技師	-	1人	-	人
事務職員	-	1人	-	人
確保ベッド数(概ね)	3	3床	2	床

### 3 職員数等

#### (1)常勤医師名簿

氏名	臨床 経験 年数	診療科目(該当科目に○印)		
		内科	外科	小児科
別紙のとおり				
<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;">                     輪番体制に参加する医師を記載してください。                 </div>				
計		人	人	人

※医師の人数が多い場合は別紙を利用してください。

#### (2)病院全体の職員数

※既存の職種別職員数一覧等がある場合は、添付に代えることも可。

区分	職員数	
	常勤	非常勤
医師	20	40
看護師(注)	100	19
薬剤師	9	3
臨床検査技師	10	5
診療放射線技師	8	2
事務職員	50	20
その他	56	18

(注)看護師には、保健師、助産師及び准看護師を含む(看護補助者を除く)。

#### 4 臨床検査等の実施の可否

尿検査	可・否
血算・血沈検査	可・否
生化学検査	可・否
心電図検査	可・否
腹部超音波検査	可・否
X線検査	可・否
緊急開腹手術	可・否

体制参加の際はすべて「可」になります。

※内外に参加する病院のみ記載

※内外に参加する病院のみ記載(参加基準を参照のこと)

#### 5 病床数

許可病床数	300床
(うち一般病床数)	180床
(うち療養病床数)	120床

混合病床のため分けて記載できない場合は、下記のように欄外に記載してください。(病床数の合計を記入)

診療科病床数(稼働病床数)	
内科	20床
外科	30床
小児科	3床
救急専用病床	床

※ 混合病床 (300床)

※ある場合

午前・午後の標記にご注意ください。

#### 6 当院の外来診療受付時間、診療時間、休診日

受付時間	午前8時30分 ~ 午後1時00分
診療時間	午前9時00分 ~ 午後1時30分
休診日	火曜日、水曜日及び年末年始

